



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社

コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 新宅 祐太郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 桑井 哲也 TEL 03-6742-8550

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	295,749	2.4	42,628	△14.5	40,453	△12.7	24,707	12.5
24年3月期第3四半期	288,914	18.3	49,875	3.7	46,319	8.0	21,962	△20.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 40,856百万円 (-%) 24年3月期第3四半期 376百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	130.12	-
24年3月期第3四半期	115.67	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	715,084	385,033	53.8	2,026.25
24年3月期	692,520	352,537	50.9	1,855.25

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 384,739百万円 24年3月期 352,272百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	17.00	-	22.00	39.00
25年3月期	-	22.00	-	-	-
25年3月期（予想）	-	-	-	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	410,000	6.0	60,000	△4.8	58,000	△2.0	34,000	40.7	179.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

・年間想定レート；1ドル=80円、1ユーロ=105円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
新規 一社（社名）一、除外 1社（社名）ギャンプロ, Inc

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	189,880,260株	24年3月期	189,880,260株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,242株	24年3月期	1,067株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	189,878,534株	24年3月期3Q	189,880,342株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）における世界の医療市場を概観すれば、米国の大統領選挙や中国での新指導部の発足など、主要市場において政治的に大きな動きがありました。従来路線からの大きな転換はないと予想されます。一方、我が国では新政権で新たに発足した産業競争力会議において、戦略市場創造の重点分野に「健康」が掲げられ、医療・介護の規制改革を通じた成長戦略の具体策を検討することになりました。また、山中伸弥・京都大学教授のノーベル生理学・医学賞受賞を受け、政府がiPS細胞（人工多能性幹細胞）研究に今後10年で1,100億円規模の長期的な支援を行うことを決定するなど、再生医療の普及へ期待が高まっています。

当社グループにおいては、心臓血管領域事業が引き続き国内で薬価・公定価改定による影響を受けましたが、海外では現地通貨ベースで堅調に業績を伸ばしました。血液システム事業は、海外を中心に回復基調が続いています。ホスピタル事業では、順次投入した新製品の業績貢献は未だ小さいものの国内で堅調に推移しました。

当社グループでは現在、「世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、前期から3カ年の中期経営計画を推進しています。当第3四半期連結累計期間の主な取り組みは以下の通りです。

- 心臓血管領域事業では、今後、グローバルで市場の拡大が見込まれている腎除神経カテーテルの開発・製造を行う中国のアンジオケア社と戦略的提携を行いました。中国での販売開始は2015年度を見込んでいます。中国では、2020年までに500億円以上の市場規模が見込まれており、当社は20%程度の市場シェア獲得を目指します。今後も現地生産・現地販売を中国戦略の基本としてカテーテル事業の拡大を図ります。
- 血液システム事業では、ベトナムのホーチミン市近郊に先進国向けの血液バッグ、成分採血キットの生産を担う新工場の建設用地を取得しました。同工場は、2015年夏頃に操業開始予定です。一方、新興国向けの生産拠点として、これまで、新興国向けの全血採血関連製品の製造を行ってきたインドのテルモ・ペンポール社の完全子会社化を決定しました。同社を新興国向けの製造中核拠点と位置付けるとともに、ベトナム新工場を先進国向けの製造拠点と位置付けることで、グローバル生産体制を構築してまいります。
- ホスピタル事業では、輸液システム領域のラインアップ拡充を目的に、薬剤投与の安全性を高めるために独自開発のIT機能を搭載した新しい輸液ポンプ「テルフュージョンポンプ」、安全な静脈注射を目指した針刺し防止機構付き静脈留置針「サーフローV3」及び新しいセーフティ容器を採用した高カロリー輸液「フルカリック」などの新製品を順次投入しました。

当第3四半期連結累計期間の業績は次の通りです。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
売上高	288,914	295,749	2.4	3.5
売上総利益	153,989	153,487	△0.3	1.5
営業利益	49,875	42,628	△14.5	△9.7
経常利益	46,319	40,453	△12.7	—
四半期純利益	21,962	24,707	12.5	—

<売上高>

売上高は、前年同期比2.4%増の2,957億円となりました。

地域別

(単位：百万円)

地 域	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
日 本	143,255	142,067	△0.8	△0.8
欧 州	53,664	52,864	△1.5	5.8
米 州	57,943	62,799	8.4	7.3
アジア他	34,051	38,018	11.7	11.9
海 外 計	145,658	153,682	5.5	7.8
合 計	288,914	295,749	2.4	3.5

国内では、心臓血管領域事業を中心に薬価・公定価改定の影響を受け、前年同期比0.8%減の1,421億円となりました。一方、海外ではカテーテル事業が引き続き好調に推移するとともに、血液システム事業も回復基調を示し、海外売上高は前年同期比5.5%増の1,537億円となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、高収益品へのシフトによるプラス要因はあったものの、価格引下げの影響などを受け、前年同期比0.3%減の1,535億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、成長投資を含む一般管理費と研究開発費の増加により、前年同期比14.5%減の426億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、円安進行を受けた為替差益の寄与があったものの、借入金の金利負担等により、前年同期比12.7%減の405億円となりました。

<四半期純利益>

四半期純利益は、前年同期比12.5%増の247億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下の通りです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「ホスピタル事業」、「心臓血管領域事業」、「血液システム事業」及び「ヘルスケア事業」の4区分から、「ヘルスケア事業」を「ホスピタル事業」に統合し、「心臓血管領域事業」及び「血液システム事業」の3区分に変更しております。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
ホスピタル事業	売上高	117,015	119,791	2.4	2.8
	(国内)	94,632	98,010	3.6	3.6
	(海外)	22,382	21,781	△2.7	△0.5
心臓血管領域事業	売上高	118,672	122,305	3.1	4.4
	(国内)	39,442	34,572	△12.3	△12.3
	(海外)	79,229	87,732	10.7	12.8
血液システム事業	売上高	53,226	53,652	0.8	3.1
	(国内)	9,179	9,484	3.3	3.3
	(海外)	44,046	44,168	0.3	3.1

<ホスピタル事業>

国内では、慢性期市場向け製品である半固形栄養食品、ドラッグ&デバイス (D&D) 事業における造影剤およびDM事業などが引き続き堅調に推移し、前年同期比では増収となりました。一方、海外では現地通貨ベースで中国、アジアにおいて売上を伸ばしたものの、米州や欧州では減収となりました。

その結果、ホスピタル事業の売上高は前年同期比2.4%増の1,198億円となりました。

<心臓血管領域事業>

国内では、薬価・公定価改定や競合他社の新製品導入の影響を受けた薬剤溶出型冠動脈ステント「Nobori」（ノボリ）の売上減少が底を打ち、徐々に回復してきました。

海外では引き続き欧米・中国などの主要市場でカテーテル事業が好調に推移しました。特に北米では、TRI（手首の血管から冠動脈にアプローチするカテーテル手技）の普及拡大が続いています。

その結果、心臓血管領域事業の売上高は前年同期比3.1%増の1,223億円となりました。

<血液システム事業>

国内、海外ともに前年同期比で増収となりました。血液システム事業の売上高は前年同期比0.8%増の537億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ226億円増加して7,151億円となりました。

流動資産は60億円増加して2,629億円となりました。

固定資産は165億円増加して4,522億円となりました。有形固定資産は78億円増加、無形固定資産は48億円増加、投資その他の資産は39億円増加となりました。

(負債)

負債の部は99億円減少して3,301億円となりました。

流動負債は427億円減少して1,153億円となりました。短期借入金が357億円減少しております。

固定負債は327億円増加して2,147億円となりました。長期借入金が299億円増加しております。

(純資産)

純資産の部は、325億円増加して3,850億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.9ポイント増加し、53.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

為替の動向や、医療機器市場を取り巻く環境変化など、今後も不透明な状況が続きますが、連結業績予想について変更はありません。

当社グループは、このような厳しい事業環境の中、目標を達成するため、医療経済性の向上に貢献できる高付加価値製品の導入、さらなる製造コストダウンへの取り組みや徹底した販管費の効率運用などに努めてまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の特定子会社であるギャンブロ，Inc.は、平成24年4月1日を効力発生日として、当社の子会社であるテルモBCT，Inc.に吸収合併されたことにより、消滅いたしました。これにより、ギャンブロ，Inc.は、当社の特定子会社に該当しなくなりました。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	78,767	72,706
受取手形及び売掛金	91,800	92,862
たな卸資産	69,280	79,993
繰延税金資産	9,707	10,146
デリバティブ債権	9	4
その他	8,543	8,377
貸倒引当金	△1,240	△1,212
流動資産合計	256,867	262,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,108	47,825
機械装置及び運搬具(純額)	38,431	44,617
土地	21,298	21,653
リース資産(純額)	1,447	1,682
建設仮勘定	15,243	14,721
その他(純額)	8,225	9,081
有形固定資産合計	131,754	139,582
無形固定資産		
のれん	138,809	139,523
顧客関連資産	83,758	84,663
その他	48,222	51,413
無形固定資産合計	270,790	275,600
投資その他の資産		
投資有価証券	20,387	21,857
繰延税金資産	6,996	7,391
その他	5,722	7,720
投資その他の資産合計	33,106	36,969
固定資産合計	435,652	452,152
繰延資産	—	52
資産合計	692,520	715,084



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,920	34,806
短期借入金	60,000	24,298
リース債務	423	557
未払法人税等	11,840	6,514
繰延税金負債	23	36
賞与引当金	5,048	2,601
役員賞与引当金	127	95
設備関係支払手形及び未払金	7,027	5,952
資産除去債務	840	420
その他	38,747	40,034
流動負債合計	157,997	115,317
固定負債		
社債	80,000	80,000
長期借入金	50,000	79,870
リース債務	999	1,133
繰延税金負債	44,736	45,722
退職給付引当金	1,538	1,577
役員退職慰労引当金	202	198
資産除去債務	153	155
その他	4,354	6,075
固定負債合計	181,984	214,732
負債合計	339,982	330,050
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	52,103	52,103
利益剰余金	290,529	306,881
自己株式	△3	△7
株主資本合計	381,345	397,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△51	1,626
繰延ヘッジ損益	1	△36
為替換算調整勘定	△29,023	△14,544
その他の包括利益累計額合計	△29,073	△12,954
少数株主持分	264	294
純資産合計	352,537	385,033
負債純資産合計	692,520	715,084

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	288,914	295,749
売上原価	134,924	142,261
売上総利益	153,989	153,487
販売費及び一般管理費	104,114	110,859
営業利益	49,875	42,628
営業外収益		
受取利息	225	221
受取配当金	289	191
受取ロイヤリティー	115	87
持分法による投資利益	67	134
為替差益	—	15
その他	818	575
営業外収益合計	1,515	1,225
営業外費用		
支払利息	536	948
売上割引	446	447
為替差損	2,837	—
たな卸資産処分損	788	560
その他	462	1,443
営業外費用合計	5,071	3,399
経常利益	46,319	40,453
特別利益		
固定資産売却益	13	47
貸倒引当金戻入額	0	—
災害損失戻入益	156	—
補助金収入	227	875
特別利益合計	397	922
特別損失		
固定資産処分損	75	451
投資有価証券売却損	1,562	—
投資有価証券評価損	7,754	—
ゴルフ会員権売却損	5	—
ゴルフ会員権評価損	—	3
環境対策費	—	390
特別損失合計	9,396	845
税金等調整前四半期純利益	37,320	40,530
法人税、住民税及び事業税	13,049	17,564
法人税等調整額	2,269	△1,773
法人税等合計	15,319	15,790
少数株主損益調整前四半期純利益	22,000	24,739
少数株主利益	38	32
四半期純利益	21,962	24,707

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	22,000	24,739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△986	1,678
繰延ヘッジ損益	△3,611	△38
為替換算調整勘定	△17,026	14,476
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	△21,624	16,116
四半期包括利益	376	40,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	411	40,826
少数株主に係る四半期包括利益	△35	29

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管領域 事業	血液システム 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	117,015	118,672	53,226	288,914	—	288,914
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	117,015	118,672	53,226	288,914	—	288,914
セグメント利益	22,208	24,934	2,520	49,663	211	49,875

(注) 1. セグメント利益の調整額211百万円には、たな卸資産の調整額△866百万円、その他1,078百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管領域 事業	血液システム 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	119,791	122,305	53,652	295,749	—	295,749
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	119,791	122,305	53,652	295,749	—	295,749
セグメント利益	18,651	19,530	1,880	40,061	2,566	42,628

(注) 1. セグメント利益の調整額2,566百万円には、たな卸資産の調整額570百万円、その他1,995百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「ホスピタル事業」、「心臓血管領域事業」、「血液システム事業」及び「ヘルスケア事業」の4区分から、「ホスピタル事業」、「心臓血管領域事業」及び「血液システム事業」の3区分に変更しております。この変更は、ヘルスケア事業をホスピタル事業に統合し、高度化・複雑化する医療市場や健康意識の高まりに対応し、顧客特性を軸とした戦略立案とマネジメントを迅速かつ力強く実践することを目的とした会社組織の変更によるものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。